2026年度第2回　理事会：議事録

日　時：2026年7月23日(木)19:00～21:10
会　場：WEB
参加者：新井、池田、石森、今村、小此木、勝野、木村、高坂、小林、設楽、柴田、中嶋、長谷川、柳井、山浦、山口、吉岡、李(50音)

【各部報告・審議事項】

1. 新井会長

特になし

2. 教育部

[担当：勝野・今村／報告者：教育部部長 今井卓也]

【報告事項】

メールで随時審議を実施。6/25にリモート会議を実施。

【検討議題】

1) 令和8年度　現職者共通研修・選択研修・基礎ポイント研修

①現職者共通研修

現職者共通研修　「作業療法生涯教育概論」
日時：令和8年7月2日
講師：松本OTR(沼田脳外)
上記内容で研修会を開催した。研修会運営では特に大きなトラブルはなし。

現職者共通研修　「事例検討」
日時：令和8年7月19日
会場：群馬医療福祉大学(対面開催)

現職者共通研修　「作業療法における協業・後輩育成」

現職者共通研修　「事例報告と事例研究」
日時：令和8年10月14日
講師：山下OTR(心臓血管センター)
上記内容で研修会準備を進めている。
日時：令和8年10月21日　講師：都丸理事
上記内容で研修会準備を進めている。

現職者共通研修　「保健・医療・福祉と地域支援」
日時：令和8 年10月28日
講師：山口部長
上記内容で研修会準備を進めている。

現職者共通研修　「職業倫理」
日時：令和8年11月11日
講師：長谷川事務局長
上記内容で研修会準備を進めている。

現職者共通研修　「実践のための作業療法研究」
日時：令和8年12月16日
講師：近藤部長
上記内容で研修会準備を進めている。

現職者共通研修　「作業療法の可能性」
日時：令和9年1月13日
講師：山口副会長
上記内容で研修会準備を進めている。

※その他の現職者共通研修も今年度の講師から内諾をいただけており、今後準備を進めていく。

②現職者選択研修

現職者選択研修　「身体障害領域」
日時：令和8年12月6日　開催方法：オンライン研修
講師：小林OTR(群馬医療)、岩井OTR(藤総)、野口OTR(群大)、松井OTR(群中)

③基礎ポイント研修

「研修タイトルは未定」
日時：令和8年12月9日　開催方法：オンライン研修
講師：月井先生(社会福祉法人浴風会)
上記内容で研修会準備を進めている。

2) 令和8年度 新人症例発表会
日時：令和8年7月19日
会場：群馬医療福祉大学(対面開催)
統括：矢吹OTR(前橋日赤)
各ブロック担当：北中毛→群馬リハビリテーション病院(大塚OTR)、西毛→公立藤岡総合病院(小林OTR)、東毛→療育センターきぼう(原澤OTR)
発表者27名
上記内容で研修会準備を進めている。

3) その他

①令和9年度の新人症例発表会について
OT協会の新生涯学修制度移行にともない、新人症例発表会が担っていた現職者共通研修「事例検討」も別研修へ移行することになった。
そのため、令和9年度は新制度に対応した研修会の開催と、基礎ポイント研修の回数の充実を図る。

【審議事項】

なし

3. 多世代企画サポート室[担当：勝野・中嶋、柳井、池田]

【報告事項】

1) 公益事業グループ(グループ長：中澤)

①ノベルティグッズの作成としてペットボトルオープナー、付箋で暫定での見積もりを算出。予算に合わせて個数を決定予定。今年度の広報活動について部会を開催し協議する予定。

2) ニュース編集グループ(グループ長：大脇)

①現在、7月号発行準備中。表紙のイラストを募集し1件応募あり。記事の依頼がある際には下記アドレス宛にデータの送付をお願いしたい。daxiezongya@gmail.com

3) 広報企画グループ(グループ長：金子)

①公益事業Gと合同で活動実施。 各部と情報を共有し必要な外部情報の収集とまとめを行う。ノベルティ(ボトルオープナー・付箋セット)の作成に向けて、見積もりと購入を進めていく。

【審議事項】

なし

5. 司法領域の作業療法について［担当：小林、都丸］
【報告事項】
1）第4回（2026.6.24）小林・高坂実施。次回、勝野・高坂対応。
2）申し送り・報告会議開催（2026.7.6）
3）今後、第4木曜日に介入する予定。
【審議事項】
なし

6. 学術部［担当：李・吉岡　部長：近藤］
【報告事項】
1）学術研究グループ（佐藤グループ長）
①第28回群馬県作業療法学会の一般演題の座長を選出した。
②6月29日に、学術活動支援企画・第1回定期勉強会を開催した。
2）学会支援グループ（秋山グループ長）
①5月26日に第28回県学会の実行委員会が開催された。各部門における関連業務の進捗状況ならびに今後の方針について確認を行った。
3）機関誌編集グループ（柳井グループ長）
①機関誌・学会誌データを最終校正中、7月中旬に印刷会社に発注予定
②第28回群馬県作業療法学会のチラシおよびポスターを印刷会社に発注済、7月末納品予定
【審議事項】
なし

7. 運転と作業療法特設委員会［担当：李］
【報告事項】
なし
【審議事項】
なし

8. 福祉用具委員会［担当：石森］
【報告事項】
1）福祉用具相談支援システムおよび生活行為工夫情報事業の県士会員登録状況
令和8年7月20日時点において、福祉用具相談支援システムの登録者数は79件、相談件数は5件。生活行為工夫情報事業は3件であった。
2）日本作業療法士協会生活環境支援室会議
6月11日に日本作業療法士協会生活環境支援室の会議に石森と一場が参加した。
【審議事項】
1） 桐生タイムス社からの取材依頼
桐生タイムス社より、年1回発行している介護・福祉の情報誌（タブロイド判24p）「HANABI」に高齢者のリフォームの特集を予定しており、住宅改修やヒートショックなどの設備について作業療法士の視点から教えてほしいと取材があった。掲載予定の文は以下であり、掲載を許可してよいか審議したい。
掲載予定の文
高齢者世帯の住宅改修というと、手すりの設置や段差の解消を思い浮かべる人が多いでしょう。しかし、群馬県作業療法士会福祉用具委員会の石森卓矢さんは、「住宅改修で何より大切なのは、住んでいる方の身体状況や生活習慣、家の中での動き方に合わせて考えることです」と話します。
例えば浴室のリフォームでは、浴槽をまたぎやすい高さにしたり、浴室内に腰掛けられる場所を設けたりすることで、安全で快適な入浴につながります。また、夜間の移動に備えて足元灯や人感センサー付き照明を設置したり、寝室とトイレを近づけて生活動線を短くしたりすることも、有効な工夫の一つです。
作業療法士は、一人ひとりの身体機能や生活動作を評価し、その人に合った住宅改修の方法を提案してくれます。
一方で、ヒートショック対策や熱中症対策、防犯対策のために新しい設備を導入する場合は、「その設備を高齢者が安全に使えるか」という視点が重要です。例えば、エアコンや給湯器を無理なく操作できるか、リモコンやスイッチが見やすく押しやすいか、火の消し忘れや操作ミスが起こりにくいか、玄関や窓の施錠を無理なく行えるか、来訪者を安全に確認できるかなどを確認しておくことが大切だといいます。
高齢者の住宅改修で目指すのは、安心して暮らし続けられる住まいづくりです。リフォームを考え始めたら、まずは作業療法士やケアマネジャーなどの専門職に相談してみるとよいでしょう。
審議結果：上記内容で掲載することが承認された。

9. 養成校連絡協議会［担当：小林、高坂、木村］
【報告事項】
1）第2回養成校連絡協議会開催（2026.7.14）。
2）臨床実習指導者講習会開催（2026.9.12（土）～13（日）・前橋医療福祉専門学校）
3）学生会員募集ポスター作製（群馬医療福祉大学）
4）群馬県作業療法学会学生ボランティア派遣検討
5）学生交流会の開催（群馬県作業療法学会：eスポーツ）
6）臨床実習学生アンケートの集計継続（～2028年度）
【審議事項】
なし

10. 地域局［担当：柴田・今村・小此木・山浦］
【報告事項】
1）各所報告
①北中毛ブロック
・報告事項はなし。
②東毛ブロック

・次年度の学会に向けて準備をしている。
6/11　桐生市包括より脳いきいき教室の講師派遣依頼に今村が対応する。
③西毛ブロック
・今年の地域包括ケアフェスティバルin高崎（令和8年11月8日開催予定）は、資料配布のみの参加となる。
④全体
・第28回群馬県作業療法学会で開催されるランチョン交流会について案内を作成、郵送等について事務局と情報共有しながら進めている。

【審議事項】

なし

11. 福利厚生部［担当：小此木, 設楽　部長 小田］

【報告事項】

1）保険事業等功労者県知事表彰の被表彰候補者として、公立藤岡総合病院関根圭介様を推薦した。
2）群馬県作業療法士会組織の説明および各部局紹介のスライドを作成。
3）子育て世代の県士会員向け企画の開催
多世代企画サポート室とともに会員およびその小学生向けに夏休みの宿題をサポートしていく。

【審議事項】

なし

12. 地域作業療法推進部［担当：高坂、吉岡］

【報告事項】

1）地域包括ケア推進グループ（山口グループ長）
①5月14日（木）第2回グループ会議を開催した。
②5月18日（月）研修企画会議を開催した。
③6月18日（木）第3回グループ会議を開催した。
④7月10日（金）2026年度第1回地域事業支援会議に、選任者として高坂、山口一が、聴講者として山浦、今村が参加した。
⑤7月16日（木）第4回グループ会議を開催した。
2）認知症支援推進グループ（笹谷グループ長）
①6月12日（金）第2回グループ員会議を実施した。
②5月24日、6月28日（日）「家族の会のつどい」にグループ員の笹谷が参加した。
③今後、以下の研修会を予定している。
日時：10月3日（土）13:00～16:00
形式：対面
会場：群馬医療福祉大学　本町キャンパス
講師：山口怜生氏（認知症の人と家族の会 副代表）
3）精神科領域推進グループ（米原グループ長）
①6月3日（火）第2回グループ会議を開催した。
②以下の通り、お悩み相談会・交流会を開催した。
日時：7月9日（木）19時～20時
形式：オンライン
参加者：13名（群馬県士会員8名、他県士会員5名）
4）発達支援推進グループ（吉岡理事）
①5月20日　部員全体会議を開催。参加者17名。
今年度の事業計画について検討した。
②5月25日　第1回定期勉強会「外部専門家派遣事業説明会」をオンラインにて開催した。参加者15名（県士会員12名、学生3名）であった。
③7月10日　群馬県教育委員会特別支援教育課に柳井と六本木で訪問した。
④7月13日　研修会企画会議をオンラインにて開催し、吉岡、六本木、吉澤、原澤、永井が参加した。
⑤7月19日　日本作業療法士協会主催の「教育領域への作業療法士参画に向けた意見交換会」に柳井、塩ノ谷、吉澤が出席した。
⑥今後以下の研修会を予定している。
8月1日　第2回定期勉強会「地域の子ども支援を繋ぐOTの視点を学ぶ会～若手のお悩み相談＆交流会～」
形態：対面式
会場：アクエル前橋
対象者：群馬県士会員および県内作業療法学生
研修会終了後懇親会も予定している。

【審議事項】

なし

13. 事務局［担当：長谷川・石森］

【報告事項】

1）会員動向（2026年7月16日現在）
① 会員数：821名
② 新入会員数：21名
③ 退会者数：61名（2026年4月1日～7月2日）

【退会者内訳】

日本作業療法士協会の退会等に伴う県士会退会者：56名
・任意退会：32名
・会員資格喪失：24名
県士会への退会届提出：5名

2）総会資料における予算案誤掲載への今後の対策

【対策】

今後、理事会・総会資料の作成および確認については、個別メールによる確認を廃止し、共有ファイルを活用する。
具体的には、県士会ホームページ内に入室制限付きの「理事会ライブラリ」を設置し、資料の作成、確認、修正および進捗状況を関係者が同一ページ上で共有できる仕組みとする。

3）地域局・ブロック支部の主任者リストの取り扱いについて
①作業療法管理者（主任者）へ通知が必要な場合は郵送にて実施
②地域局・ブロック支部での連絡方法などの構築に向けて事務局と地域局で協議中

お願い：ブロック支部長あてに主任者へ通知依頼（調査依頼等）をする場合は、通知は郵送となることがありますので、事務局の方にもご連絡ください

検討事項

1）2026年度理事会　組織図の体制の確認、委員会の見直しに関して

①前橋刑務所支援対応についての位置づけ

前橋刑務所支援対応について、今年度についても事務局に位置付けることとする。

②委員会の整理

【現行】

常設委員会：倫理問題検討委員会、
災害対応委員会、
選挙管理委員会

特設委員会：福祉用具委員会、
生活行為向上マネジメント推進委員会、
運転と作業療法特設委員会、
40周年記念事業実行委員会、
養成校連絡協議会

【見直し案】専門委員会の新設について

①常設委員会：倫理問題検討委員会・災害対応委員会・選挙管理委員会

※常設委員会は変更なし

②専門委員会：福祉用具委員会、
MTDLP推進委員会

③特設委員会：運転と作業療法特設委員会、
40周年記念事業実行委員会、
養成校連絡協議会

協議の結果：今回は委員会等は変更なし

【協議・審議事項】

協議事項

1）会員名簿の取り扱いについて

【現状と課題】

会員名簿の管理は、定款に基づき今後も継続する必要がある。

一方、会員への名簿配布については、現在の運用を見直す余地がある。

紙媒体の名簿は、改姓や勤務先の変更などにより情報が古くなりやすく、掲載先や郵送先に関する会員個別の事情にも対応しにくい。

一方で、会員間の連絡手段として一定の役割を果たしてきたことも踏まえ、会員名簿の配布継続の是非について検討をしていきたい。

会員名簿の会員への配布を今後も継続するか、意見を伺いたい。

【審議事項：本年度の名簿の対応】

①現行どおり会員名簿を配布する

②会員名簿の配布を停止する

③会員名簿を施設名簿として再編して配布する

掲載項目：施設名、住所、電話番号等

【配布を継続する場合の検討事項】

名簿掲載について、会員から同意を得る必要があるか

少なくとも掲載辞退の意向確認を行う必要があるか

【配布を停止する場合の対応】

会員名簿は内部管理資料とし、理事・委員長等の必要な役職者に限って閲覧できる仕組みを整備する。

あわせて、「会員名簿の閲覧および取扱いに関する規程」を作成し、閲覧対象者や利用目的、取扱方法を明確にする。

審議結果：継続審議とする。8月に再度メール審議を行う。

14. 40周年式典実行委員会［担当：長谷川・石森］

【報告事項】

1）40周年記念式典事業進捗状況について

①40周年記念事業の実施について通知

ホームページ、メール配信にて実施。インスタ、フェイスブックにも掲載済み

②コンセプトメッセージの募集

募集期間：7月13日～ 8月13日

7月21日現在：9件の応募あり。

※ぜひ理事の方のご施設でも応募についてご周知、ご応募に協力いただきたい。

（尚、氏名・所属施設等の公表はなし）

※複数応募可能

③記念品ノベルティグッズの選定：広報部の方で取りまとめをしていただく。

【確認事項】リーフレット担当

①リーフレットの作成：A3両面　カラーでの作成を想定している。

現時点では、以下の構成で作成を進める予定。

・1ページ目：表紙（40周年コンセプトメッセージを掲載）

・2ページ目：会長挨拶・寄稿文

・3ページ目：県士会の歩み、目で見る県士会

・4ページ目：今後の県士会の取り組み、県士会所在地等

②寄稿文の依頼先を、日本作業療法士協会会長および県医務課長とすることでよいか

③依頼内容の詳細（文字数、締切、掲載内容、公文書の要否など）をリーフレット担当者で整理・作成したうえで、新井会長から正式に依頼していただく流れでよいか

協議結果：寄稿文の依頼は日本作業療法士協会会長、県知事として対応

県知事への依頼は新井会長を通じて県職員の方と協議いただく

【審議事項】

なし

15. 財務部［担当：髙橋・小林］

【報告事項】

1）各部会へのR8年度予算の振込完了

2）財務部業務の引継ぎ・会費未納のお知らせについては「個別送付」とする。

【審議事項】
なし

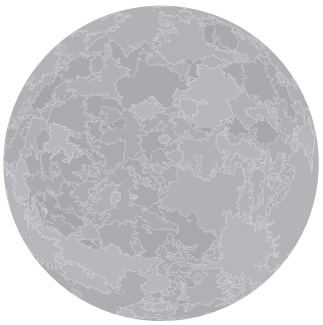
16.MTDLP推進委員会［担当:池田］
【報告事項】
1)MTDLP基礎研修
7月12日(日)　会場:群馬大学保健学科　大学院講義室で実施した。参加者23名。
【審議事項】
なし

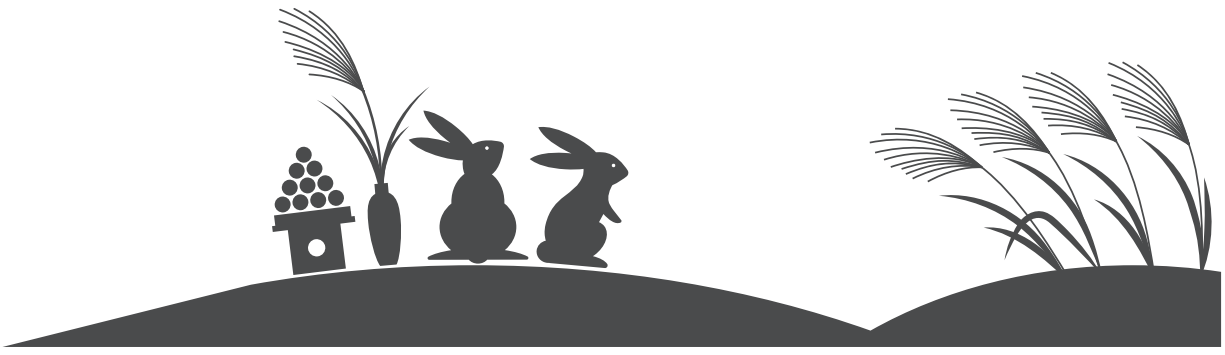
17.災害対応委員会［担当:設楽］
【報告事項】
1)県学会にて、災害リハビリに関する広報活動として、ポスターなど掲示していく。
2)9月に大規模災害に対する避難訓練を実施予定。
【審議事項】
なし

18.第28回群馬県作業療法学会［担当:吉岡、山浦］
【報告事項】
1)5月26日に学会実行委員会議、6月22日に学会役員会議を行った。
2)群馬県、群馬県教育委員会、高崎市より学会後援の許可を頂いた。また有限会社P.O.サポート様より学会協賛をいただく。
3)学会ホームページの情報更新を行った。
4)7月2日より、学会参加申し込みを開始した(Peatix利用)。
5)学会企画であるフリーブースには、5つのブースを出展していただけることとなった。
また企業展示は9社を予定している。
6)学会ポスター・チラシ、学術誌の印刷依頼を機関誌編集グループへ行った。
【審議事項】
なし

19.その他
1)全国リハビリテーション学校協議会群馬県作業療法士養成校担当より、群馬県における
理学療法士・作業療法士臨床実習指導者講習会の開催に向けた協議について。
2)12月6日に開催される第10回北関東信越ブロック学会シンポジストについて1名出席
することが求められている。参加者を決定したい。
3)日本作業療法士協会の国際事業部における担当窓口を各都道府県に設けるように連絡が　あった。群馬県作業療法士会としては柳井理事が担当する。

次回理事会予定と開催形式
9月24日(木)19:00～　WEBで実施する。





2026年度第3回　理事会：議事録

日　時：2026年9月24日(木)19:00～20:11
会　場：WEB
参加者（18名）：新井、山口、勝野、石森、小林、今村、高坂、山浦、都丸、小此木、池田、木村、柳井、柴田、李、設楽、中嶋、唐澤（監事）

1. 会長

9月4日日本作業療法士協会設立60周年記念式典に出席した。第一部は記念式典で表彰等が実施され、第二部は祝賀会が実施された。日本作業療法士協会の動向としては、都道府県の連盟設立に高い関心がある。ただし、政治活動における投票行動は、法人や所属組織、個人の思想によっても左右される為、群馬県作業療法士会会長としては、前のめりに参加していくものでは無いのではないかと考えているが、県士会としてどのように動いていくかを検討していく必要がある。

第2回協会長・都道府県士会長会議へ、山口副会長及び小此木理事がオンラインで参加した。

長谷川前事務局長の退任、退会に伴い、石森副事務局長を事務局長代理として任命し、県士会の事務局業務を進めていく予定である。

2. 事務局

【報告事項】

1）審議事項の結果について

会員名簿の取り扱いについて、本年度より会員名簿の個別配送は廃止する。

会員には廃止の旨の文書を通知する。

2）司法領域OT支援（仮）については部署名として「司法領域作業療法支援室」とし事務局に位置付けた。

【審議事項】

1）選挙管理委員会委員長の選出について

訪問看護ステーショングラーチア中島崇暁氏へ選挙管理委員会委員長の就任を依頼することについて承認を得たい。→承認。

2）事務局員の給与について

2026年10月3日から群馬県の最低賃金が1120円に引き上げられる。現状は1100円の時給となっている。10月1日より1200円に引き上げることの承認を得たい。→承認。

3. 福祉用具委員会［担当：石森］

【報告事項】

1）福祉用具相談支援システムおよび生活行為工夫情報事業の県士会員登録状況

令和8年9月1日時点において、福祉用具相談支援システムの登録者数は79件、相談件数は5件。生活行為工夫情報事業は3件であった。

【審議事項】

なし

4. 40周年記念事業実行委員会

【報告事項】

コンセプトメッセージについては40案ほど応募があった。このうち6案を候補として実行委員会の中で検討した。10月末日を目途に会員向けにアンケート調査を実施中である。調査後、次回11月理事会で内容を精査し、決定する予定となっている。

40周年記念誌は950部を発行予定とし、年度末に配布出来るよう調整中である。ノベルティについては、11月理事会で提示できるように調整中である。

【審議事項】

なし

5. 学術部［担当：李・吉岡　部長：近藤］

【報告事項】

1）学術研究グループ（佐藤グループ長）

①7月20日に、学術活動支援企画・第2回定期勉強会を開催した。

②8月24日に、学術活動支援企画・第3回定期勉強会を開催した。

2）学会支援グループ（秋山グループ長）

①8月31日に第28回県学会の実行委員会が開催された。会場となる群馬パース大学において、学会役員および実行委員による進捗状況の共有ならびに当日の業務内容の確認が行われた。

3）機関誌編集グループ（柳井グループ長）

①8月21日（金）に今年度の機関誌『ぐんま作業療法研究』Vol.29を発刊した。その後、9月初旬に各県士会員および関連施設へ送付した。

【審議事項】

なし

6. 運転と作業療法特設委員会［担当：李　委員長：原］

【報告事項】

なし

【審議事項】

特記なし

7. 地域作業療法推進部［担当：高坂］

【報告事項】

1）地域包括ケア推進グループ

①8月20日（木）第5回グループ会議を開催した。

②8月4日（火）関東信越ブロック会議を実施し、グループ員2名が参加した。

③今後、以下の研修会等の開催を予定している。
10月22日（木）災害対策研修
12月13日（日）人材育成研修
2)認知症ケア推進グループ
①8月31日第3回目のグループ会議を実施した。
②7月26日、8月23日家族の会のつどい　グループ員の笹谷が参加した。
③第2回目の研修会講師にNPO法人きなね 伊部先生の登壇が決定した。
3)精神科領域推進グループ
①8月6日第3回グループ会議を開催した。
②8月1日第5回憩いの広場に作業療法士会ブースとしてグループ員から3名参加した。
③9月5日こころのふれあいフェスタ2026の作業療法士会ブースにグループ員から5名参加した。
④下記の通り、「事例検討会」を開催予定している。
日時：10月29日（木）　18時30分から20時
形式：対面
会場：群馬医療福祉大学
4)発達支援グループ（六本木グループ長）
①7月30日　学童研修会企画会議をオンラインにて開催し、吉岡、柳井、六本木、塩ノ谷、矢吹、上原が参加した。
②8月18日　研修会企画会議をオンラインにて開催し、六本木、塩ノ谷、相川、大山、米原が参加した。
③以下の通り第2回定期勉強会『地域の子ども支援を繋ぐOTの視点を学ぶ会～若手のお悩み相談＆交流会～』を開催した。
日時：8月1日（土）14時半から16時半
形式：対面
会場：アクエル前橋
参加者：13名
④9月12日　第3回定期勉強会　学童保育×作業療法士　ベーシック研修会を実施した。

【審議事項】

1)精神科領域推進グループ

日本ソーシャルバスケットボール協会主催「エンジョイカップ2026東日本大会」の後援について。メール審議により7/31付で、承認された。

8. 多世代企画サポート室［担当：勝野、池田、柳井、中嶋］

担当者会議9月5日（土）sheepにて対面会議で実施。
出席者：勝野、池田、中嶋
担当間で適宜メールにて協議。

【報告事項】

1）県士会の公式Instagramについて

運用中。フォロワー数350人以上を達成。著変無し。広報部との連携を進める。部員募集のため福利厚生部と連携して部員募集のスライドを掲載した。

2）子育て世代向け研修会

福利厚生部との共同企画「夏休み宿題大作戦!」を令和8年8月2日（日）に実施した。未就学児3名、小学生6名、大人13名の計22名が参加した。宿題やポスター等、講師を交えて和気あいあいとした雰囲気で進んだ。OTの親同士でも雑談や情報交換ができた。次回は東毛地区の方も参加しやすい形を検討中である。

3）主任者会議における研修会企画

主任者のニーズをまとめる為に、主任者向け研修ニーズ調査アンケートを作成、ご協力を頂いた。アンケート結果を基に、「作業療法士の強みを活かしたチームマネジメント（仮）」の企画をブロック毎に実施を検討中である。

【審議事項】

なし

9. 地域局　［担当：小此木・山浦・今村］

【報告事項】

1）西毛ブロック
・学会の準備を実行委員と連携して行った。
2）北中毛ブロック
・学会主任者交流会の参加に関して、再度参加促しのメールを行った。
3）東毛ブロック
・太田市介護認定審査会　委員の選定を行った。
イムス太田　中野OTR
太田医療技術専門学校　小林OTR
本島総合病院　池田OTR
に継続していただくことになった。
・学会主任者交流会への支援協力を行った。
4）全体
・学会主任者交流会に関して、協議・事前準備を行った。

【審議事項】

なし

10. 教育部　［担当：勝野・今村］

【報告事項】

1)令和8年度　現職者共通研修・選択研修・基礎ポイント研修

1. 現職者共通研修

現職者共通研修　「事例検討」
日時：令和8年7月19日
会場：群馬医療福祉大学（対面開催）
上記内容で研修会を開催した。研修会運営では特に大きなトラブルはなし。

現職者共通研修　「事例報告と事例研究」
日時：令和8年10月14日
講師：山下遊平OTR（心臓血管センター）
上記内容で研修会準備を進めている。
日時：令和8年10月21日
講師：都丸理事

上記内容で研修会準備を進めている。
現職者共通研修「保健・医療・福祉と地域支援」
日時：令和8年10月28日
講師：山口一幸OTR（介護老人保健施設ゆうあい荘）
上記内容で研修会準備を進めている。
現職者共通研修　「職業倫理」
日時：令和8年11月11日
講師：勝野副会長
上記内容で研修会準備を進めている。
現職者共通研修　「実践のための作業療法研究」
日時：令和8年12月16日
講師：近藤健OTR（群馬パース大学）
上記内容で研修会準備を進めている。
現職者共通研修　「作業療法の可能性」
日時：令和9年1月13日
講師：山口副会長
上記内容で研修会準備を進めている。
※その他の現職者共通研修も今年度講師の内諾あり、準備を進めていく。

2. 現職者選択研修
現職者選択研修　「身体障害領域」
日時：令和8年12月6日
開催方法：オンライン研修
講師：小林昭博OTR（群馬医療福祉大学）
岩井慶士郎OTR（公立藤岡総合病院）
野口直人OTR（群馬大学）
松井明OTR（JCHO群馬中央病院）

3. 基礎ポイント研修
「認知症とともに生きる人々の「語り」から考えるリハビリテーション」
日時：令和8年12月9日
開催方法：オンライン研修
講師：月井直哉先生
（社会福祉法人浴風会老健くぬぎ）
上記内容で研修会準備を進めている。

2) 令和8年度 新人症例発表会
日時：令和8年7月19日
会場：群馬医療福祉大学（対面開催）
統括：矢吹OTR（前橋日赤）
各ブロック担当：
北中毛→群馬リハビリテーション病院（大塚OTR）
西毛→公立藤岡総合病院（小林OTR）
東毛→療育センターきぼう（原澤OTR）
上記内容で研修会を開催した。研修会運営では特に大きなトラブルはなし。
事例報告者：27名　事例検討者：11名　総参加人数（スタッフ含む）：102名

3) メールで随時審議を実施。8/19にリモート会議を実施した。

4) その他
1. 地域作業療法推進部との連携について
高坂理事、山口グループ長と各々の部の活動内容と連携可能な点について話し合いを実施した。

【審議事項】
なし

11. 財務部［担当：小林］
【報告事項】
1) 臨床実習指導者講習会受講料徴収方法の変更
一律、協会へ500円の支払いに加え、群馬県作業療法士会への支払いも必要である（他都道府県士会員は2,000円、非協会員は10,000円）。
県士会（小林）徴収ミスによる払い戻しを3名に行った（振込手数料￥680）。

【審議事項】
なし

12. 養成校連絡協議会［担当：小林
【報告事項】
1) 9/12日（土）・13日（日）臨床実習指導者講習会開催。45/46名参加した。
前橋医療福祉専門学校にて、木村先生を中心に実施した。
2) 指導者講習会へのご意見「臨床実習指導者講習会を土日に限らず、平日にも開催してほしい」。理由：土日は家庭の事情。両日を空けることが難しい。職場の上司からも研修会を勧められており、自分自身も研修会への気持ちはある。
3) 学生会員総数168名：学会において学会ボランティア派遣及び学生交流会（マリオカート）参加を促した。

【審議事項】
なし

13. 事務局：司法領域作業療法支援室［担当：小林・都丸］
【報告事項】
1) 8/6、9/10、9/24に勝野副会長、高坂理事、中嶋理事がそれぞれ対応した。（2名体制）
2) 公文書依頼
3) 10/1協会の司法領域士会情報交換会に小林理事および都丸理事が参加する予定である。
日本司法作業療法学会（11/14・11/15）が開催される。

【審議事項】
なし

14. 広報部［担当：都丸］
【報告事項】
1) 公益事業グループ（グループ長：中澤）
・部会を開催し今年度の広報活動について協議している。12/5(土)13:30と19:00から高校生対象の職業案内をオンラインにて開催予定である。

2）ニュース編集グループ（グループ長：大脇）
・県士会ニュース7月号が完成し現在，10月号を準備中である。ニュース記事や表紙のイラスト募集中。記事の依頼やご相談がある場合には，下記アドレス宛にお願いしたい。
daxiezongya@gmail.com
3）広報企画グループ（グループ長：金子）
・ノベルティ(ボトルオープナー・付箋セット)の作成に向けて、見積もり依頼を実施した。作成を行っていく。使用の際、窓口は都丸理事へお願いしたい。

【審議事項】
なし

15. 福利厚生部［担当：小此木・設楽　部長：小田］

【報告事項】
1）10月10、11日にリレーフォーライフぐんまへ参加予定である。
イベントにて、一般参加者へノベルティ（風船）や作業療法士についてのパンフレット（協会のもの）も配布していく。チャリティーイベントで募金を募集している。
2）群馬県作業療法学会の表彰について
優秀演題賞の候補者選定を県学会担当者と調整している。
3）群馬県作業療法士会組織の説明および各部局紹介について
県学会のフリーブースにて、スライドをポスター掲示していく予定である。

【審議事項】
なし

16. 災害対応委員会［担当：設楽］

【報告事項】
1）発災時の事務局と災害対策委員会の役割を明確にするため、「災害発生後の流れ（概要図）」を作成した。
2）9月25日に、群馬県作業療法士会会員に向けて、災害を想定した訓練を実施予定である。事務局から一斉メールにて案内し、Googleフォームにて安否確認等を行っていく。
3）県学会のフリーブースにて、災害リハについての紹介を行っていく。
加えて、能登半島地震の対応についても掲示し、学会参加者へ災害対策への情報発信を行う予定である。

【審議事項】
なし

17.MTDLP推進委員会［担当：池田］

【報告事項】
1）MTDLP実践者研修
例年通り、1～3月にオンラインで実施予定である。
9月27日の県学会でアナウンス予定とする。

【審議事項】
なし

18. 第28回群馬県作業療法学会［担当：吉岡、山浦］

【報告事項】
1）8月31日（月）第3回実行委員会会議を群馬パース大学にて開催した。
2）学会開催に向けて、実行委員会と学術部を中心に準備を進めている。
3）9月26日（土）群馬パース大学にて前日準備を実施する。
4）9月27日（日）学会を開催する。現段階で220名以上の方が参加予定である。

【審議事項】
なし

・その他
太田医療科学大学設置認可に関わる報告（御礼）小林

次回第4回理事会　11月26日（木）19:00～